

標題: Mendeley Institutional Edition

－ メンデレイ機関版のご紹介

発表者名: 井上 淳也

所属機関名: スエッツ インフォメーション サービス株式会社

: Mendeley(メンデレイ)は2008年に開発されたインターネット・クラウド・サービスをベースにした文献管理ソフトです。Mendeleyは研究における、[より自由で創造的な“知・情報”の交換・共有]を理念に、研究者間で急速に広まり、現時点(2012年6月現在)で、全世界約180万人の利用者登録があります。研究者はインターネット上でMendeleyの簡単な登録(無料)を行うだけで、自身の文献管理が出来るだけでなく、Mendeley上にある他ユーザの作ったグループに参加したり、或いは自らグループを作りメンバーを加えていくことで、グループメンバー間で文献の共有や意見交換することが出来ます。(一例としてアノテーションを付けての文献共有等があります。)

このことからMendeleyは[研究者のSNS(ソーシャルネットワークサービス)]という位置づけとも言えるかもしれません。

: Mendeley Institutional Edition (メンデレイ機関版 - 以下、機関版)は、2012年よりスエッツ社よりご紹介を開始した新しい製品です。機関版の主な特徴は、大きく2つに分けられます。まず1つは、機関契約を行っている電子リソースやお使いのOpenURLリンクリゾルバの情報を登録することで、機関所属のMendeleyユーザにその情報が表示され、Mendeley上の文献検索の結果と契約電子リソースが結び付けられること。

今一つは、Mendeleyアカウントを持つ機関所属のユーザが、Mendeley上で行う文献ダウンロード・文献アップロード・グループ参加状況をいつでも俯瞰出来ることで、機関所属ユーザのリアルタイムな研究動向の把握と評価分析を可能にします。

機関版をお使いいただくことで、所属研究者の研究成果工場、研究機関のブランド向上にお役立ていただけます。